

## 第2章 読書活動の実態

### 1. 目的

一般成人の現在および子どもの頃の読書活動の特徴を明らかにすることを目的とした。

### 2. 方法

前述したマイボイスコム株式会社のモニターである全国の20～60代の男性2,500名、女性2,500名、計5,000名（各年代で男性500名、女性500名）を分析対象とした。そして、年代と現在の読書活動についてクロス集計表を作成した。

### 3. 結果

#### (1) 年代×現在の読書活動

##### ① 1ヶ月に読む本（紙媒体）の量

1ヶ月に読む本（紙媒体）の量は、年代に関係なく半数以上または半数近くが0冊であった。

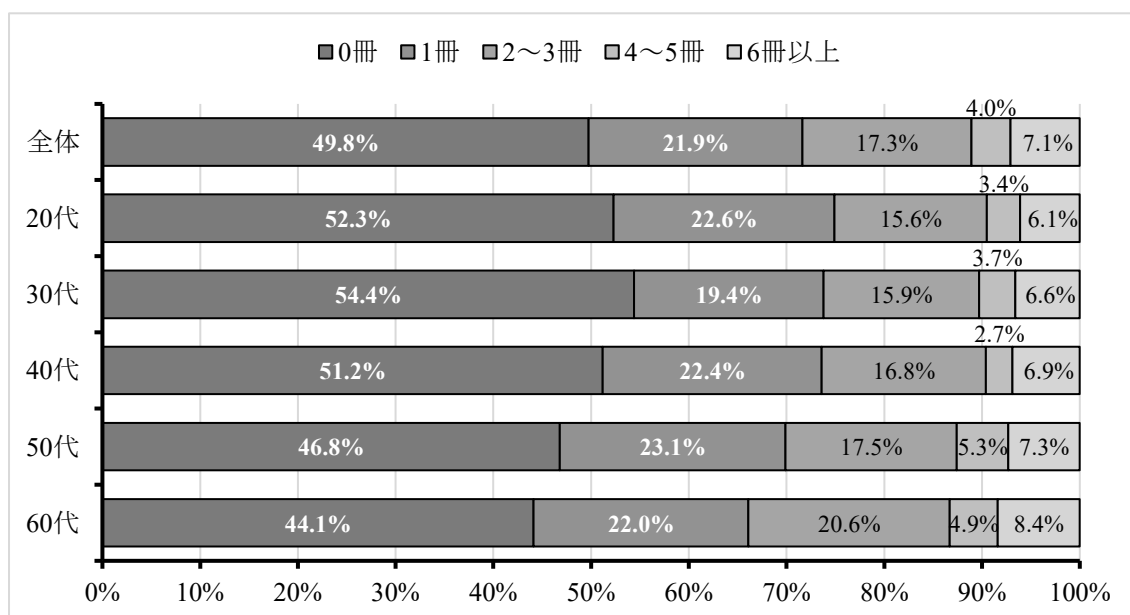


図2-1. 「現在」1ヶ月に読む本（紙媒体）の量（q5-2）（各年代  $n = 1,000$ 、全体  $N = 5,000$ ）

### ②1 ヶ月に読むマンガの量

1 ヶ月に読むマンガの量は、20代は半数近くが1冊以上読んでいるが、60代ではほとんどが0冊であった。

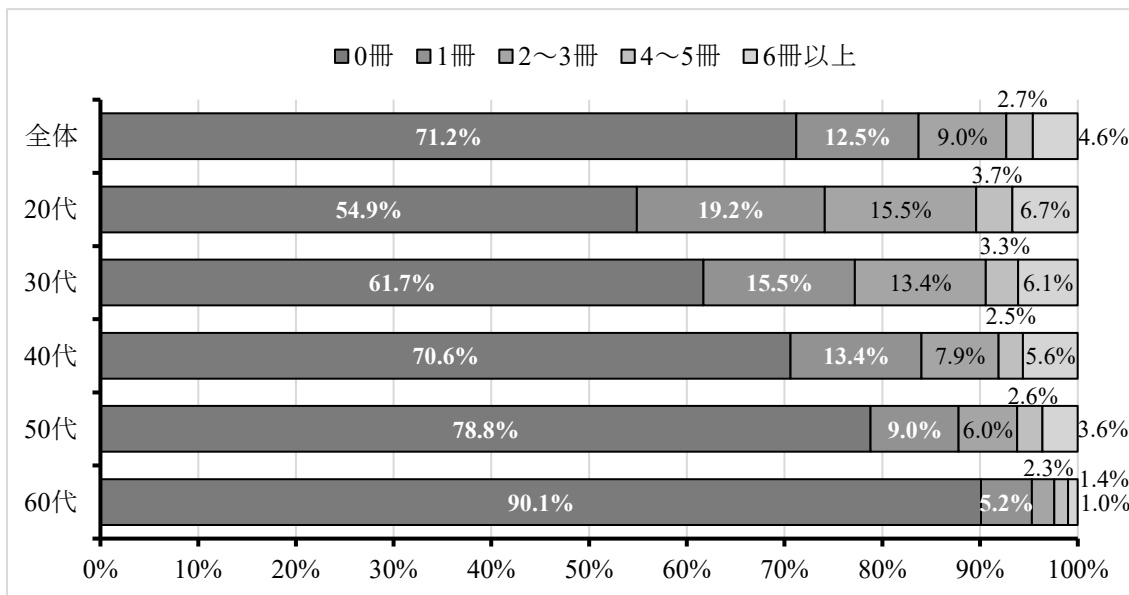


図 2-2. 「現在」1 ヶ月に読むマンガの量 (q5-2) (各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ )

### ③1 ヶ月に読む雑誌の量

1 ヶ月に読む雑誌の量は、年代に関係なく 60%以上が0冊であった。

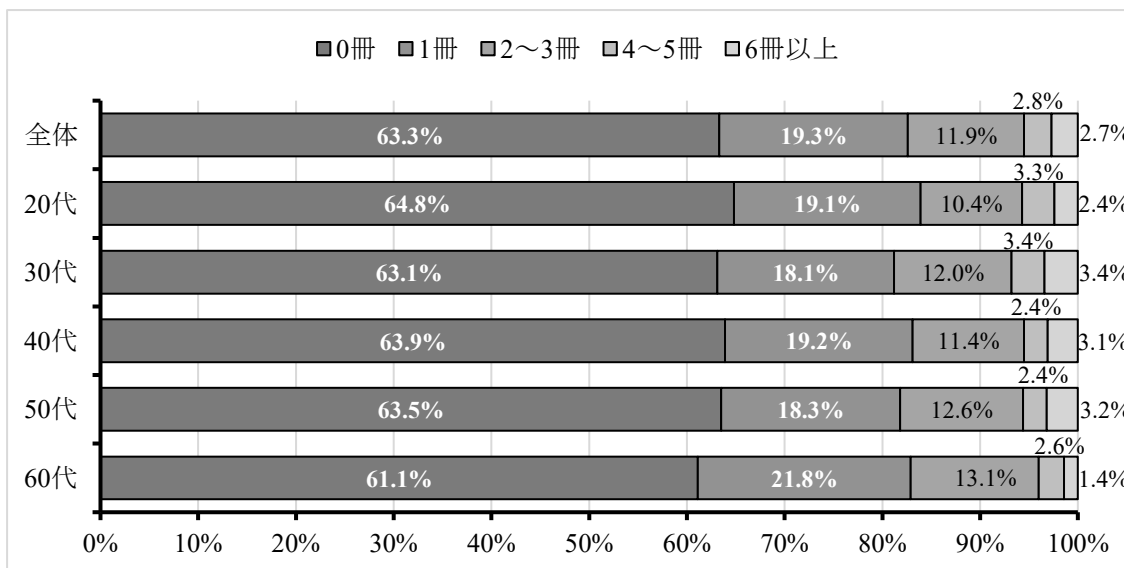


図 2-3. 「現在」1 ヶ月に読む雑誌の量 (q5-2) (各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ )

#### ④1 ヶ月に読む電子書籍の量

1 ヶ月に読む電子書籍の量は、年代に関係なく 70%以上が 0 冊であった。また年代が低い場合、1 冊以上の割合が高い傾向がみられた。

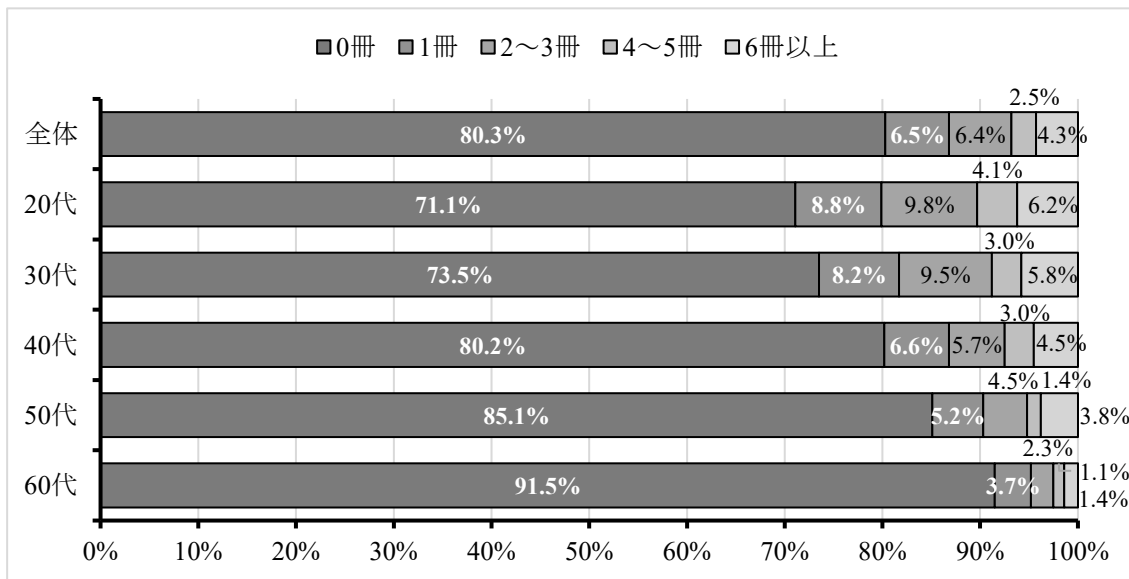


図 2-4. 「現在」1 ヶ月に読む電子書籍の量 (q5-2) (各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ )

#### ⑤1 ヶ月に読むオーディオブックの量

1 ヶ月に読むオーディオブックの量は、年代に関係なく 90%以上が 0 冊であった。

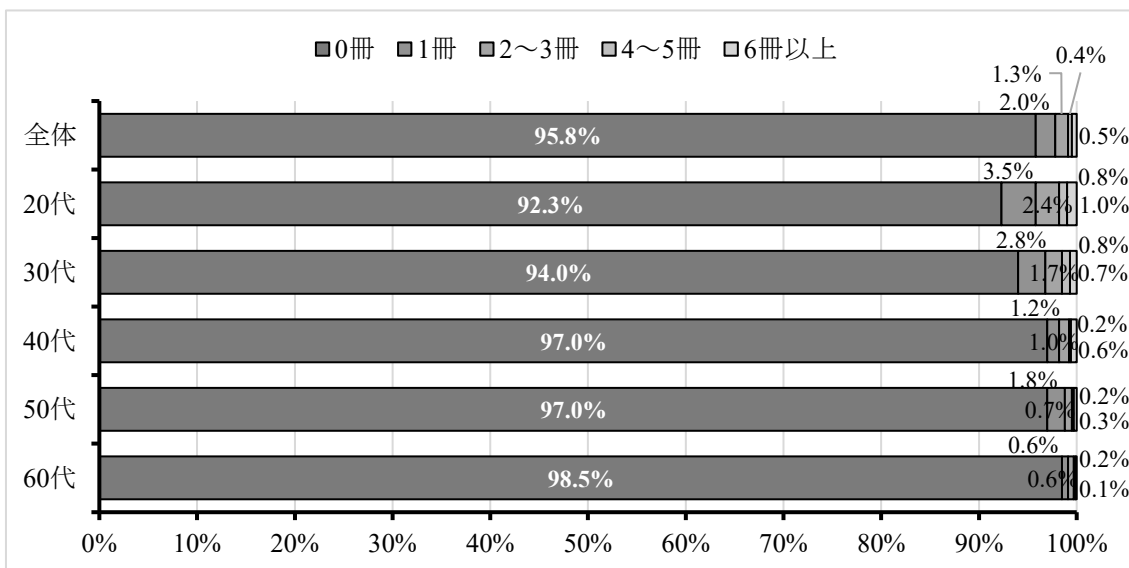


図 2-5. 「現在」1 ヶ月に読むオーディオブックの量 (q5-2)  
(各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ )

### ⑥本（紙媒体）を使った1日当たりの読書時間

本（紙媒体）を使った読書時間は、20代から50代は半数近くが0分であるが、60代は60%以上が本を使った読書をしていた。

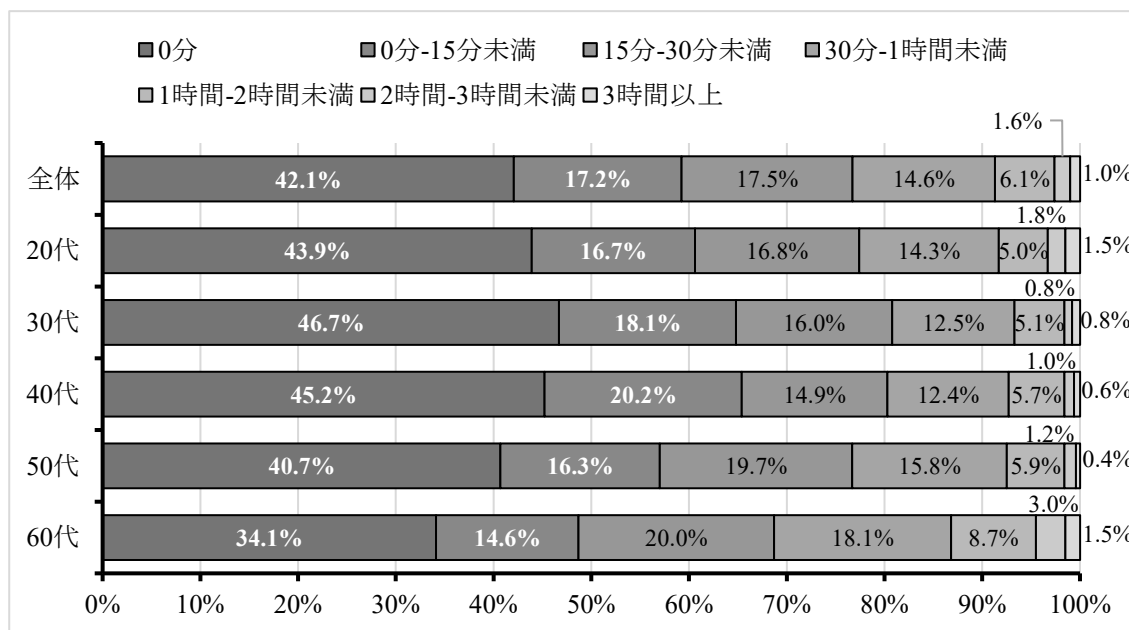


図 2-6. 「現在」本（紙媒体）を使った1日あたりの読書時間（q6-2）

（各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ ）

### ⑦パソコンを使った読書時間

パソコンを使った読書時間は、20代から50代は半数以上が0分であった。60代は半数近くがパソコンを使った読書をし、3時間以上している者の割合が10%以上であった。

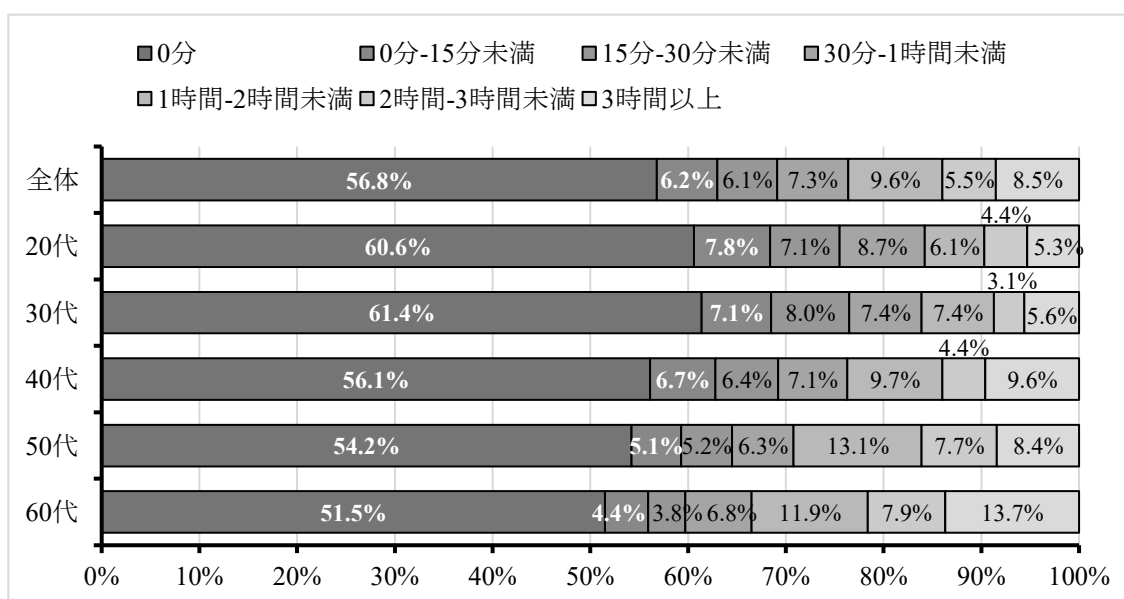


図 2-7. 「現在」パソコンを使った1日あたりの読書時間（q6-2）（各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ ）

### ⑧携帯電話、スマートフォン、タブレットを使った読書時間

携帯電話、スマートフォン、タブレットを使った読書時間は、20代を除き、半数以上が0分であった。20代は、半数以上が携帯電話、スマートフォン、タブレットを使った読書をしていた。

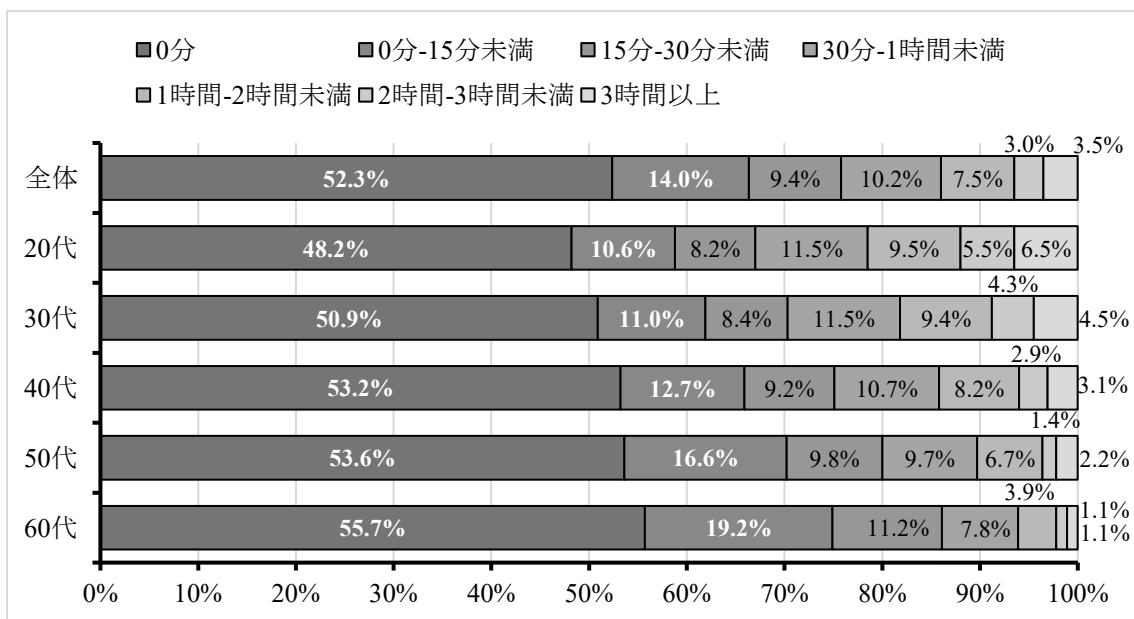


図 2-8. 「現在」携帯電話、スマートフォン、タブレットを使った1日あたりの読書時間 (q6-2)  
(各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ )

### (2) 年代×子どもの頃の読書活動

#### ①小学校高学年の頃、どれくらい本（紙媒体）を読んだか

年代に関係なく、読んだ（とてもよく読んだ、よく読んだ、読んだ）割合が、半数を超えていた。また、20代、30代は、本をほとんど読まなかった割合が60代の2倍近くみられた。

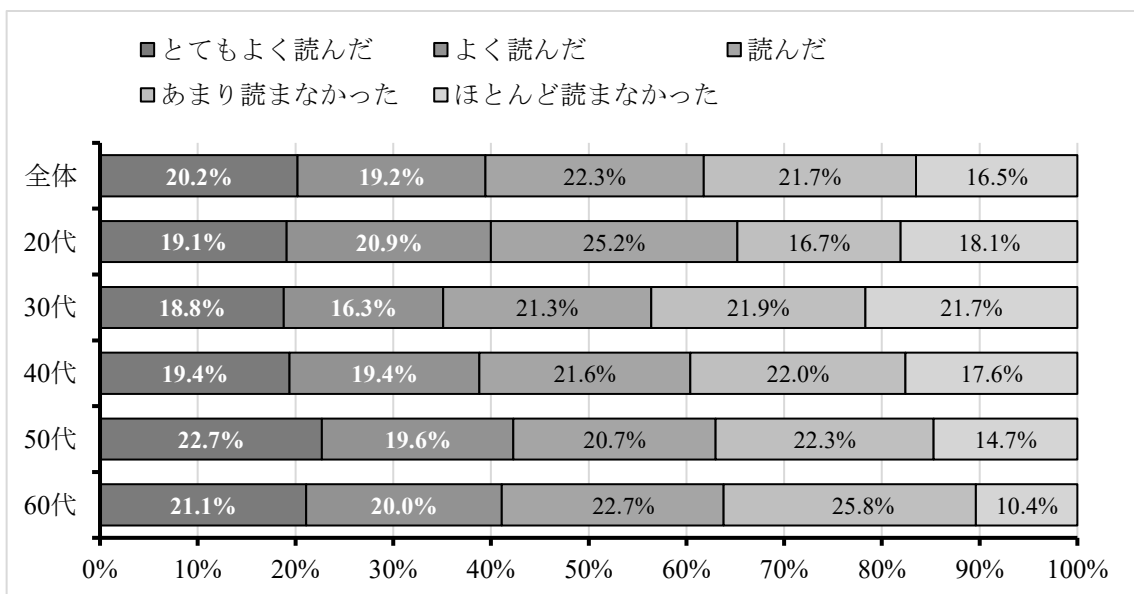


図 2-9. 小学校高学年の頃、どれくらい本（紙媒体）を読んだか (q6-9)  
(各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ )

## ②中学校の頃、どれくらい本（紙媒体）を読んだか

30代を除き、読んだ（とてもよく読んだ、よく読んだ、読んだ）割合が、半数を超えていた。20代から40代は、ほとんど読まなかった割合が20%以上であった。

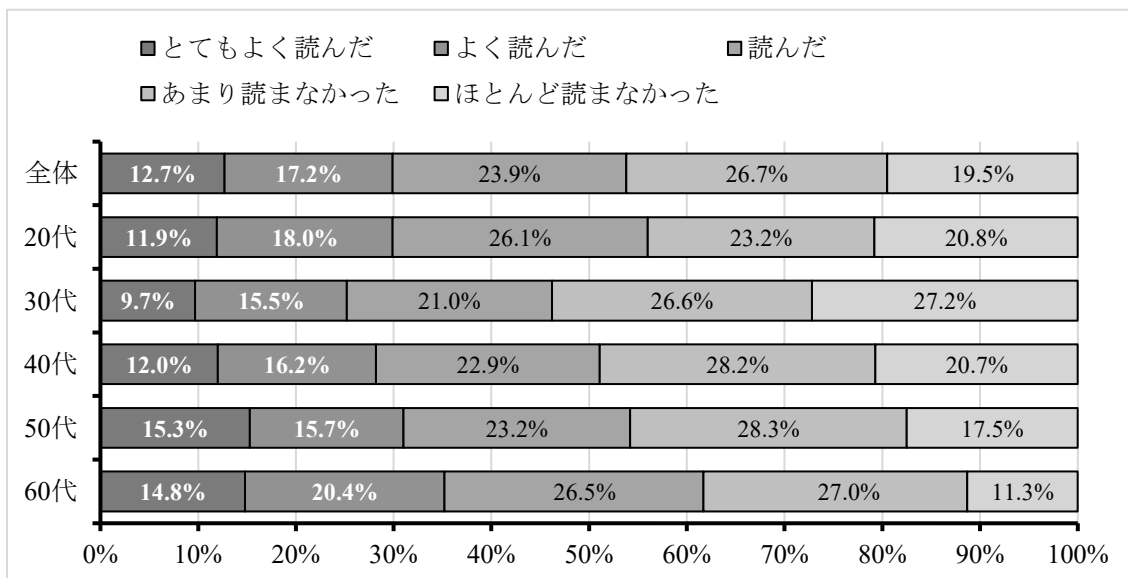


図 2-10. 中学校の頃、どれくらい本（紙媒体）を読んだか (q6-9)

(各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ )

## ③高校の頃、どれくらい本（紙媒体）を読んだか

20代から50代は、読んだ（とてもよく読んだ、よく読んだ、読んだ）割合が、半数をきっていた。また、ほとんど読まなかった者の割合が20%以上であった。

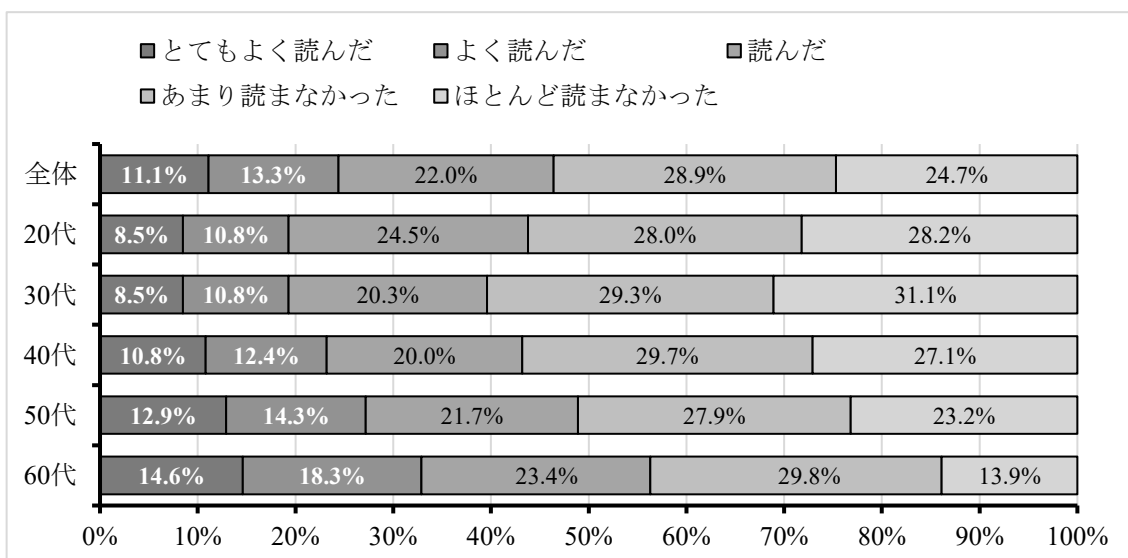


図 2-11. 高校の頃、どれくらい本（紙媒体）を読んだか (q6-9) (各年代  $n = 1,000$ , 全体  $N = 5,000$ )

## 4. 考察

過去の調査より、大学生の読書冊数や読書時間が減少傾向にあることが報告されている（平山, 2015）。また、小中高生も自分から進んで読書をしている者の割合は半数以下であり、その主な理由として読む時間がないことが挙げられている（株式会社創建, 2019）。単純集計の結果、本の種類を問わず1ヶ月の

読書冊数は年代に関係なく半数以上が 0 冊であった。したがって、本調査研究の結果は、時間がないことにより読書時間がなく、過去の調査と同様の傾向が得られたと考えられる。

クロスマーケティング（2017）は、紙媒体による読書をしている者の割合が、本を読む人の 9 割以上であることを報告している。本調査研究では、紙以外のツールを利用した 1 日あたりの読書時間は、年代により異なる傾向がみられた。紙媒体の場合、60 代は読書時間が 0 分の割合が 34%であるのに対して、それ以外の年代は 40%を超えていた。60 代の場合、紙媒体による読書活動に親しみがあるため、割合が低かったと考えられる。20 代、30 代は、スマートフォンの個人所有率が最も高い（総務省，2018）が、本調査研究では、スマートフォンやタブレットのようなスマートデバイスを利用した読書は、20 代において 0 分の割合が半数をきっていた。この結果は、スマートデバイスの個人所有率の上昇に伴い、読書のツールがスマートデバイスへ移行していることを示唆している。

近年、小中高生の読書実施率は 50%より高いものの、年齢が高くなるにつれ、実施率は低くなることが報告されている（株式会社創建，2019）。本調査研究の結果、小学校の頃は年代に関係なく、本（紙媒体）を読んだ（とてもよく読んだ、よく読んだ、読んだ）割合は半数を超えていた。こうした背景には、読書活動を推進する取り組みなどの影響もあると考えられる。中学校時代は、30 代を除き小学校の頃と同様の傾向がみられたことから、推進する取組みの影響もあると考えられる。30 代の傾向に関しては、今後詳細な検討が必要である。高校の頃は、20 代から 50 代は、本（紙媒体）をあまり読まなかったとほとんど読まなかった割合が半数を超えていたことから、過去の調査と同様の傾向にあると考えられる。